

鳥取県自死対策計画

みんなで支え合う 自死対策プログラム

～ 誰もが自死に追い込まれることのない

鳥取県を目指して ～

(平成30～35年度)



鳥取県「眠れていますか？」睡眠キャンペーンキャラクター
“スーミン”

**平成30年4月
鳥取県**

目次

1. プログラムの目的等	1
① プログラムの目的	
② プログラムの期間	
③ プログラムの推進体制	
④ 他の計画との整合	
2. 自死をめぐる現状と課題	2
① 本県における自死の現状について	2
(1) 自殺死亡率の推移	
(2) 自死者数の推移	
(3) 年代別の自死者数の推移	
(4) 月別の自死者数（平成24～28年の累計）	
(5) 職業別自死者数の推移	
(6) 原因・動機別自死者数の推移	
(7) ストレスを感じた者の割合	
(8) 睡眠による休養を十分にとれていない者の割合	
(9) 精神保健福祉センターにおける相談件数の状況	
② 現状を振り返って	8
3. 達成しようとする具体の目標数値	9
4. 目標達成に向けた具体の取組内容	10
(1) 県民一人ひとりの気づきと理解	
(2) 家庭や地域、学校、職場におけるこころの健康づくり	
(3) 様々な役割を担う人材の養成	
(4) 相談体制の整備と関係機関との連携強化	
(5) 遺された人への支援	
5. 参考資料	19

1. プログラムの目的等

① プログラムの目的

鳥取県自死対策計画「みんなで支え合う自死対策プログラム(以下「プログラム」という。)」は、自殺対策基本法(平成18年法律第85号)第13条の規定に基づき、平成29年7月25日に閣議決定された「自殺総合対策大綱」や本県の実情を踏まえて、誰もが自死(※)に追い込まれることなく、健康で生きがいを持って暮らすことのできる鳥取県の実現を目指すことを目的に策定するものです。

※本県では、遺族等の心情等にも配慮し、法令等の用語を引用する際に「自殺」という表現を使用する場合を除き、「自死」と表現しています。

② プログラムの期間

平成30年度(2018年度)から平成35年度(2023年度)までの間の6年間

H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度以降
みんなで支え合う自死対策プログラム (H30～35年度)						
鳥取県健康づくり文化創造プラン(第三次) (H30～35年度)						

③ プログラムの推進体制

精神保健福祉センター内に設置している「鳥取県自死対策推進センター」や県内市町村、関係団体と連携し、地域の自死対策の向上を図るとともに、自死未遂者や自死遺族等に対して適切な支援を行います。

また、地域における自死対策を推進するために設置している「心といのちを守る県民運動(※)」において、このプログラムで設定した目標や具体の施策の進捗状況を毎年把握し、円滑な推進を図るとともに、自死をめぐる状況の変化や目標の達成状況を踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行います。

※心といのちを守る県民運動

健康づくり文化の創造のために設置している附属機関「鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議」の一部会

④ 他の計画との整合

このプログラムの策定に当たっては、健康増進法に基づく「鳥取県健康づくり文化創造プラン(第三次)」と整合が図られたものとしています。